

2024年7月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2023年12月13日

上場会社名 株式会社ニッソウ 上場取引所 東 名  
 コード番号 1444 URL https://reform-nisso.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 前田 浩  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理部長 (氏名) 北村 知之 TEL 03 (3439) 1671  
 四半期報告書提出予定日 2023年12月13日 配当支払開始予定日 -  
 四半期決算補足説明資料作成の有無: 有  
 四半期決算説明会開催の有無: 無

(百万円未満切捨て)

1. 2024年7月期第1四半期の連結業績 (2023年8月1日~2023年10月31日)

(1) 連結経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年7月期第1四半期	1,316	-	53	-	65	-	45	-
2023年7月期第1四半期	-	-	-	-	-	-	-	-

(注) 包括利益 2024年7月期第1四半期 46百万円 (-%) 2023年7月期第1四半期 一百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年7月期第1四半期	41.80	-
2023年7月期第1四半期	-	-

(注) 1. 潜在株式調整後1株あたり四半期純利益については、潜在株式が存在していないため、記載しておりません。  
 2. 前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、2023年7月期第1四半期の数値及び対前年同四半期増減率については記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年7月期第1四半期	2,475	1,525	61.6
2023年7月期	2,491	1,479	59.4

(参考) 自己資本 2024年7月期第1四半期 1,525百万円 2023年7月期 1,479百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年7月期	-	0.00	-	0.00	0.00
2024年7月期	-	-	-	-	-
2024年7月期 (予想)	-	0.00	-	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無: 無

3. 2024年7月期の連結業績予想 (2023年8月1日~2024年7月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	2,652	-	105	-	108	-	64	-	58.82
通期	5,382	29.2	245	65.9	249	74.6	147	112.2	135.37

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無: 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無  
新規 ー社（社名）ー、除外 ー社（社名）ー

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2024年7月期1Q	1,088,700株	2023年7月期	1,088,700株
② 期末自己株式数	2024年7月期1Q	816株	2023年7月期	716株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2024年7月期1Q	1,087,911株	2023年7月期1Q	1,081,857株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予想情報に関する説明」をご覧ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	8
(継続企業の前提に関する注記) .....	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	8
(セグメント情報等) .....	8

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### （1）経営成績に関する説明

当社グループは前連結会計年度末より連結財務諸表を作成しているため、前第1四半期連結累計期間との比較分析は行っていません。

また、当社グループは前連結会計年度までリフォーム事業の単一の報告セグメントとしておりましたが、当第1四半期連結会計期間において連結子会社である日本リゾートバンク株式会社の事業がスタートし、今後の事業戦略等を踏まえ報告セグメントの見直しを検討した結果、当第1四半期連結会計期間より「リフォーム事業」及び「不動産事業」へと報告セグメントを変更しております。

当連結会計年度におけるわが国経済は、景気は緩やかに回復しており、先行きについても、雇用・所得環境が改善する下で、各種政策の効果もあって、緩やかな回復が続くことが期待されている一方で、世界的な金融引締めに伴う影響や中国経済の先行き懸念など、海外景気の下振れが我が国の景気を下押しするリスクとなっており、また、物価上昇、中東地域をめぐる情勢、金融資本市場の変動等の影響など、先行き不透明な状況となっております。

当社グループが事業展開を行うリフォーム・不動産関連市場におきましては、アフターコロナを迎え、人々の移動の活発化に伴い、引越し等による不動産需要の増加、リフォーム工事の増加が期待できる反面、旅行や外食等、外出を伴う消費機会の増加により、不動産関連費用やリフォームに対する支出及び需要の減少が予測され、予断を許さない状況が継続するものと予想されます。

このような状況のもと当社グループは、新規顧客の獲得や教育体制の強化など既存事業を強化するとともに、新規事業として不動産事業を営む日本リゾートバンク株式会社が事業を開始するなど、新たな領域への取組みも図ってまいりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は1,316,915千円、営業利益は53,173千円、経常利益は65,946千円、親会社株主に帰属する四半期純利益は45,477千円となりました。

セグメントの業績は、以下のとおりであります。

#### （リフォーム事業）

リフォーム事業については、新規顧客を開拓し、また2023年7月期に子会社化した株式会社ヤナ・コーポレーションの損益計算書を当第1四半期から連結したこと等により、完成工事高は1,126,317千円、営業利益は40,494千円となりました。

#### （不動産事業）

不動産事業については、2023年7月期に当社が100%出資で設立した子会社である日本リゾートバンク株式会社の事業が開始し、当社グループにおいて不動産販売、不動産仲介を行うことができたため、売上高は190,598千円、営業利益は11,819千円となりました。

### （2）財政状態に関する説明

#### （資産）

当第1四半期連結会計期間末における流動資産は1,813,192千円となり、前連結会計年度末に比べ32,275千円減少いたしました。これは主に販売用不動産が56,065千円、完成工事未収入金が36,347千円増加した一方、現金及び預金が83,425千円、契約資産が21,167千円減少したことによるものであります。固定資産は662,134千円となり、前連結会計年度末に比べ16,158千円増加いたしました。これは主に関係会社株式が12,208千円、繰延税金資産が5,681千円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は、2,475,327千円となり、前連結会計年度末に比べ16,117千円減少いたしました。

#### （負債）

当第1四半期連結会計期間末における流動負債は853,119千円となり、前連結会計年度末に比べ56,177千円減少いたしました。これは主に賞与引当金が21,200千円増加した一方、工事未払金が35,684千円、未払法人税等が15,259千円、株主優待引当金が10,522千円減少したことによるものであります。固定負債は96,943千円となり、6,177千円減少いたしました。これは長期借入金金が6,177千円減少したことによるものであります。

この結果、負債合計は、950,063千円となり、前連結会計年度末に比べ62,354千円減少いたしました。

#### （純資産）

当第1四半期連結会計期間末における純資産合計は1,525,263千円となり、前連結会計年度末に比べ46,237千円増加いたしました。これは親会社株主に帰属する四半期純利益の計上に伴い、利益剰余金が45,477千円増加し

たことによるものであります。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年7月期の連結業績予想につきましては、2023年9月14日の「2023年7月期 決算短信」で公表いたしました第2四半期累計期間及び通期の連結業績予想に変更はありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,199,110	1,115,685
完成工事未収入金	427,833	464,181
契約資産	143,091	121,923
未成工事支出金	28,114	19,436
販売用不動産	6,781	62,846
その他	41,205	29,246
貸倒引当金	△669	△126
流動資産合計	1,845,468	1,813,192
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	31,284	30,509
土地	138,188	138,188
その他（純額）	16,452	18,049
有形固定資産合計	185,925	186,747
無形固定資産		
のれん	27,079	25,725
ソフトウェア	10,220	9,351
その他	436	436
無形固定資産合計	37,736	35,513
投資その他の資産		
投資有価証券	37,549	38,227
関係会社株式	346,794	359,002
繰延税金資産	12,173	17,854
その他	43,031	42,021
貸倒引当金	△17,233	△17,233
投資その他の資産合計	422,314	439,873
固定資産合計	645,976	662,134
資産合計	2,491,444	2,475,327

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年7月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2023年10月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
工事未払金	275,308	239,623
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	24,708	24,708
未払法人税等	46,326	31,067
賞与引当金	7,600	28,800
株主優待引当金	17,826	7,304
未成工事受入金	45,352	44,161
前受金	9,000	-
その他	83,174	77,454
流動負債合計	909,297	853,119
固定負債		
長期借入金	87,890	81,713
繰延税金負債	11,057	11,057
その他	4,173	4,173
固定負債合計	103,120	96,943
負債合計	1,012,418	950,063
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	349,789	349,789
資本剰余金	249,789	249,789
利益剰余金	883,210	928,688
自己株式	△497	△497
株主資本合計	1,482,292	1,527,769
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△3,265	△2,506
その他の包括利益累計額合計	△3,265	△2,506
純資産合計	1,479,026	1,525,263
負債純資産合計	2,491,444	2,475,327

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
 (四半期連結損益計算書)  
 (第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
売上高	1,316,915
売上原価	1,030,428
売上総利益	286,486
販売費及び一般管理費	233,313
営業利益	53,173
営業外収益	
受取利息及び配当金	4
貸倒引当金戻入額	542
持分法による投資利益	11,920
その他	1,119
営業外収益合計	13,586
営業外費用	
支払利息	814
営業外費用合計	814
経常利益	65,946
特別利益	
固定資産売却益	1,908
特別利益合計	1,908
税金等調整前四半期純利益	67,854
法人税、住民税及び事業税	28,266
法人税等調整額	△5,889
法人税等合計	22,376
四半期純利益	45,477
親会社株主に帰属する四半期純利益	45,477



(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第1四半期連結累計期間 (自 2023年8月1日 至 2023年10月31日)
四半期純利益	45,477
その他の包括利益	
その他有価証券評価差額金	470
持分法適用会社に対する持分相当額	288
その他の包括利益合計	759
四半期包括利益	46,237
(内訳)	
親会社株主に係る四半期包括利益	46,237
非支配株主に係る四半期包括利益	—

## (3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間（自 2023年8月1日 至 2023年10月31日）

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	リフォーム 事業	不動産事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	1,126,317	190,598	1,316,915	—	1,316,915
セグメント間の内部売上高又は振替高	374	—	374	△374	—
計	1,126,692	190,598	1,317,290	△374	1,316,915
セグメント利益	40,494	11,819	52,313	859	53,173

(注) 1. 売上高の調整額△374千円及びセグメント利益の調整額859千円は、セグメント間の取引消去であります。

2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当社グループは、前連結会計年度までリフォーム事業の単一の報告セグメントとしておりましたが、2023年3月に不動産事業を目的とする日本リゾートバンク株式会社を設立し連結子会社とし、同社の事業が2023年8月より開始されたことから、同社を含めた当社グループの事業について、今後の事業戦略等を踏まえ報告セグメントの見直しを検討した結果、当第1四半期連結会計期間より「リフォーム事業」及び「不動産事業」へと報告セグメントを変更しております。

## 3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。